

【要望事項 13】長崎駅周辺で計画されている各種事業の促進について

要 旨

長崎駅周辺地区においては、国事業の九州新幹線西九州ルート建設計画、長崎県事業の JR 長崎本線連続立体交差事業及び長崎市事業の長崎駅周辺土地地区画整理事業が相互に関連しながら計画されております。

長崎の玄関口である当地区を、より機能的で快適な「広域交通拠点」として再整備を進める上で、これらの事業は、三位一体となって推し進めるべきものでありますので、事業の促進につきまして、特段のご配慮をお願いいたします。

さらに、この長崎駅周辺地区や魚市跡地と浦上川右岸地区とを円滑に連携し、これらの地区の一体的な発展に寄与する旭大橋平面化の早期実現につきましても、特段のご配慮をお願いいたします。

理 由

本市では、鉄道による土地利用の分断と踏切による交通渋滞が都市機能の低下を招いており、長崎駅部においても、駅の背後に車両基地、貨物基地といった広大な低未利用地があり、都市の活性化を図る上で大きな支障となっております。

このような中、九州新幹線西九州ルートについては、平成 24 年 6 月に、現在、順調に工事が進められている武雄温泉・諫早間と新たな区間である諫早・長崎間を一体的な事業として標準軌で整備する内容の認可がなされました。

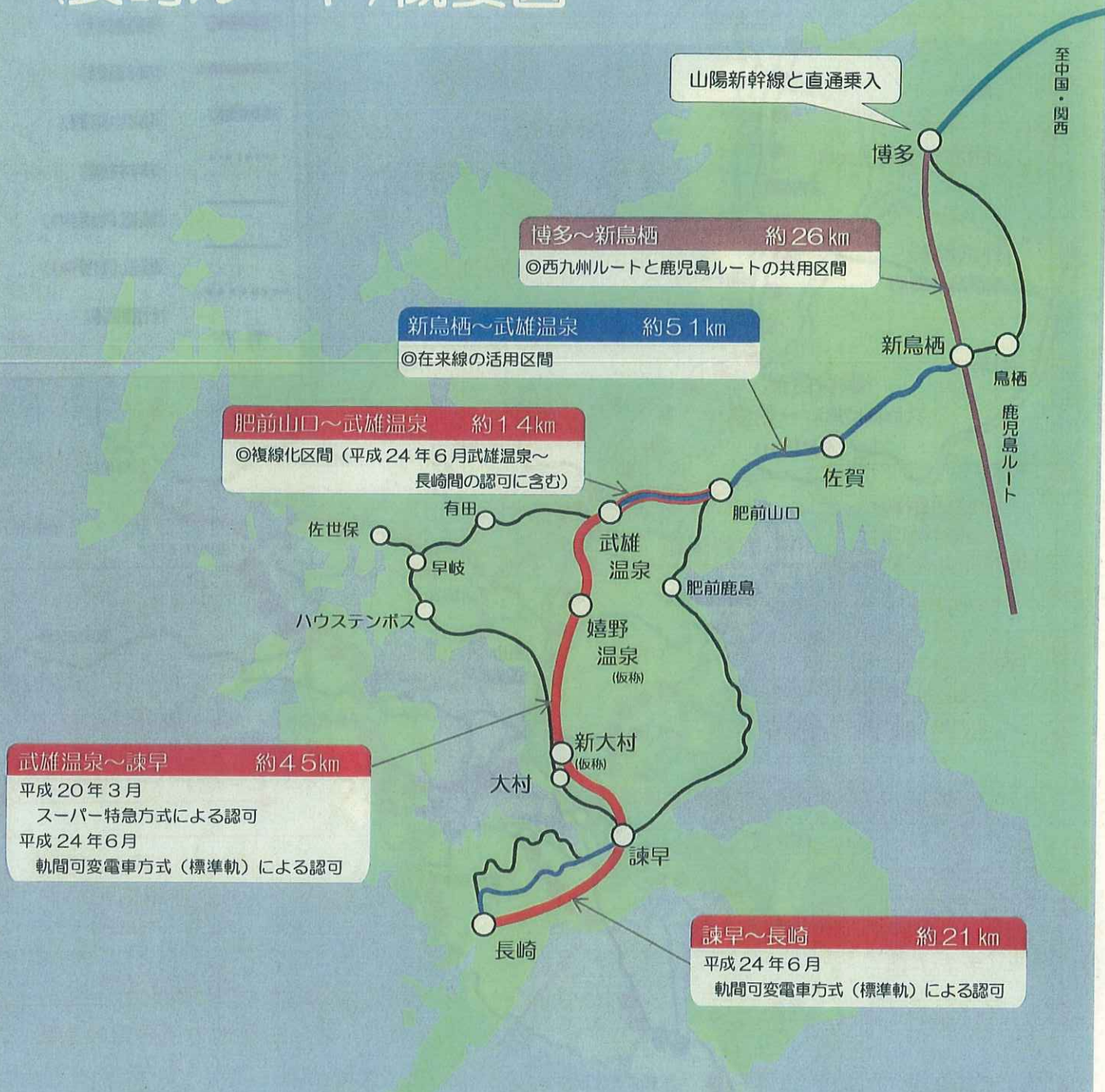
また、連続立体交差事業と土地地区画整理事業については、新幹線の受け皿整備と国際観光文化都市の玄関口にふさわしい魅力と活力あふれる広域交流拠点の創造に向け、平成 21 年度から本格的に事業に着手しておりましたが、今回の新幹線の認可により、これらの事業が三位一体となって、いよいよ動き出すこととなります。

本市としましても、果たすべき役割については努力を惜しまない所存でありますので、九州新幹線西九州ルート武雄温泉・長崎間の早期完成・開業並びに JR 長崎本線連続立体交差事業及び長崎駅周辺土地地区画整理事業の円滑な事業促進につきまして、格段のご配慮をお願いいたします。

一方、長崎駅周辺地区と浦上川右岸地区は、現在、旭大橋で繋がっているものの、わずか 100m 程度の河川に対し、延長 800m 以上の高架橋の構造となっております。

この旭大橋の平面化が実現しますと、長崎駅周辺地区や魚市跡地と浦上川右岸地区とを連携する道路機能や歩行者の利便性・快適性の向上はもちろんのこと、これらの地区の一体的な発展・振興に大きな効果が期待されますので、旭大橋の平面化の早期実現につきましても、特段のご支援とご協力をお願いいたします。

九州新幹線西九州ルート (長崎ルート) 概要図



■西九州ルート of 延長

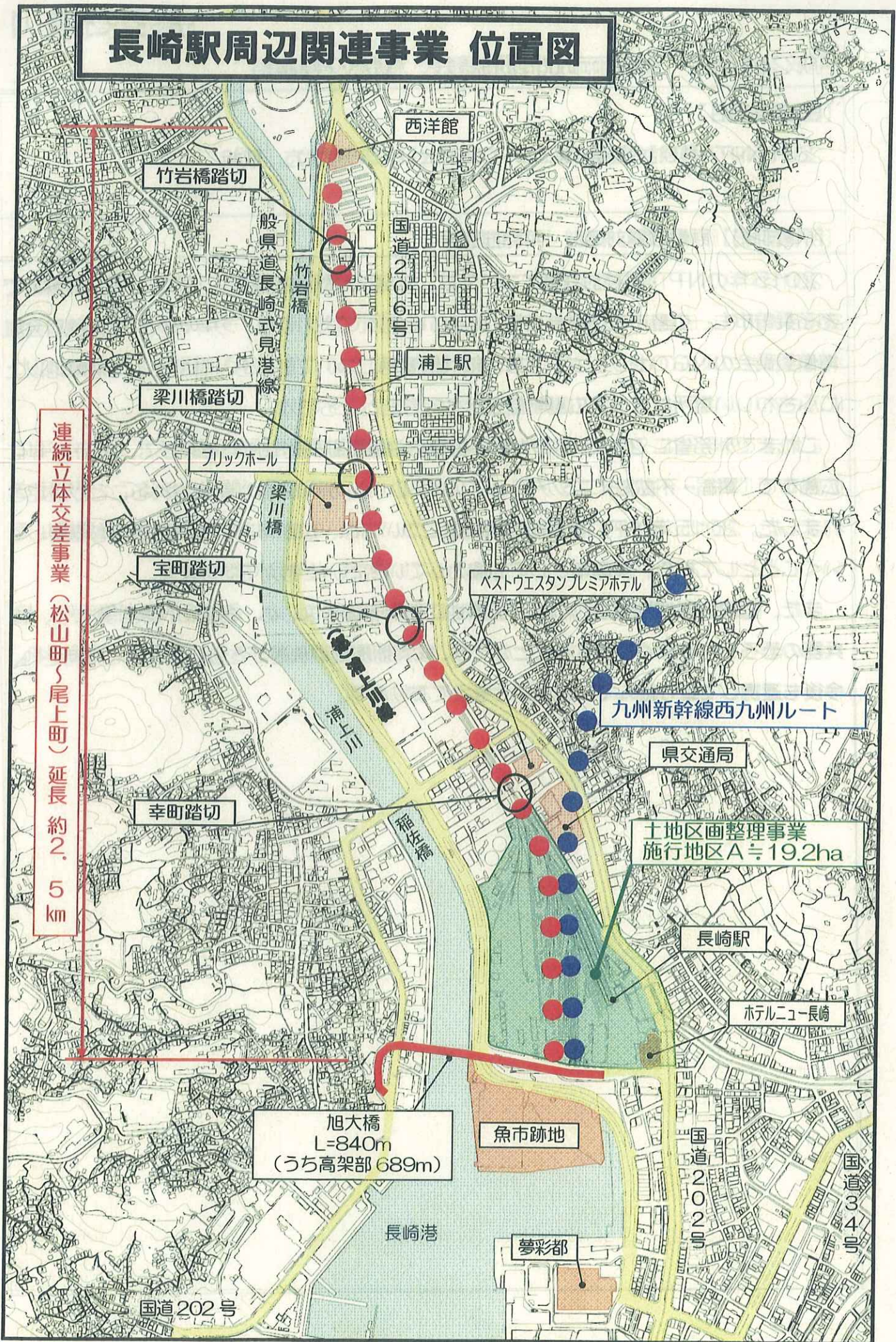


●軌間可変電車 (フリーゲージトレイン)

線路の幅 (軌間) が違う新幹線 (標準軌) と在来線 (狭軌) の直通運転を可能とするため、車輪の幅を変えることができる電車。

長崎駅周辺関連事業 位置図

連続立体交差事業（松山町～尾上町）延長約2.5km



旭大橋
L=840m
(うち高架部 689m)

土地区画整理事業
施行地区A≒19.2ha